

オブセコンテポラリー プレスリリース

このたび、長野県小布施町立「千曲川ハイウェイミュージアム」が、別紙リーフレットのようにリニューアルオープンいたしました。その成り立ち、経緯なども含めながらご案内申し上げます。取材、報道など、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

北信濃に位置する小布施町は晩年の葛飾北斎がはるばる江戸から通い、数々の銘品を残した街として知られ、また街並修景事業や栗菓子を中心とした観光地としても独自の成果を上げ、全国的にもここ数年注目を集めてきました。

その小布施町にある3つの公立のミュージアムのうちの1つ、「千曲川ハイウェイミュージアム」は平成8年にオープンし、本年度12年目を迎えます。

当初、地元の切り絵作家を中心に紹介する美術館として開館しましたが、平成13年頃からは一個人の作家をプロデュースし続ける方法に限界が生じ、以後、専門職ではない(*)館の職員が独自に企画を工夫したり、また企画会社に依頼するような方法で昨年度まで運営を続けてきました。しかし、入館者数の伸び悩みと、加えて昨今の町の厳しい財政事情により、平成19年度からの運営が困難な状況となりました。閉館、あるいは指定管理業者への委託制度により、文化施設以外の道も含めて、検討を迫られる局面になっておりました。(*当館には専属の学芸員が配置されておりました)

景気の最盛期に抱えてしまった地方行政の“ハコモノ”の負担増や、全国的な美術館運営の冬の時代にあって、こうした状況はさほど珍しい事態ではありません。そんな中、現状を少しでも健全に打開していこうという一つの試みとして、町がプロデュースし、アーティスト(*)がディレクションをするという運営方法の美術館が、「千曲川ハイウェイミュージアム - オブセコンテポラリー」としてこの4月より誕生しました。(*アーティストのネットワークを最大限に駆使したオブセコンテポラリー実行委員会を実行母体の中核とします/参加メンバーは美術家・建築家・編集者・経営者などで、作家に限定してはいません)

作家が一個人として社会と結びついていける仕組みは、まだまだ成熟した環境にあるとは言えません。

作品を目の前にして「なぜ、その人はそれをつくったのか」、そして「わたしたちはそこから何を受け取るのか」。

単に作家の作品を展示・鑑賞するという場の機能を超えて、彼らの果てしない創造力と希望を孕んだその仕事と現実社会を結ぶ接点を探り、具体的なその装置(プラグイン)の構築を作家自らが発想し試行していく(*)。そしてその実現を行政がサポートします。(*具体的には同封のリーフレットを参照ください。またサイト obusecontemporary.com にて最新の情報を提供しています)

もちろんこうした企画が美術館の経営力を劇的に好転させるものではありません。前述した経緯ゆえに運営にあたっては潤沢な予算が用意されているわけでもありません。当面は関わっていただくそれぞれの作家のタレント(能力)を持ち寄り、分担しながらボランティアに近い形で運営していくことになります。また

行政の仕組み上、1年間ごとの予算審議成立の上での契約となります。とりあえず我々に与えられた時間は1年間ではありますが、継続して育てこそ意味のある企画です。未来を見据えつつも多くの課題を抱えてのスタートとなりましたが、行政担当者・議会・住民・作家…を巻き込みながら、文化の創造とはいったいどういふものかを真摯に考えるチャンスととらえ、実行委員会一同、取り組んでいこうと考えています。

関係各位の皆様には、ご理解の上、お一人でも多くの方々がこの創造の場へ足を運んでいただけるように、ご協力をいただきたくお願い申し上げます。

2007年4月12日

オブセコンテポラリー実行委員 統括代表
中村仁(美術家・軽井沢在住)



オブセコンテンポラリー プレスリリース

“暮らしの中にアートを”をキーワードに、その表現のためのベースキャンプとして、住民参加型美術館を目指します。実現のための機能としての“鑑賞・創造・発信”それぞれについてソフトの構築と発掘に努めます。この機能を体験される方が、アートをより身近に感じ、楽しみ、そして自分自身の眼で日常の中にアートを発見し、お一人お一人の人生が創造性に溢れた豊かなものになるように、という願いを基本方針に据えます。

2007年 企画発起・企画統括 中村 仁 Jin Nakamura (美術家)

施設名称：千曲川ハイウェイミュージアム

住所：長野県上高井郡小布施町大字大島 上信越高速道路ハイウェイオアシス内

電話：026-247-6600 ファックス：026-247-6611 地図→

入館料：大人 ¥ 300・高校生 ¥ 300・中学生以下無料

開館：午前9時～午後5時

E-mail：info@obusecontemporary.com

(お問い合わせ一般)

E-mail：edu@obusecontemporary.com

(小布施町教育委員会へのお問い合わせ)

E-mail：system@obusecontemporary.com

(サイトに関するお問い合わせ)

URL：<http://obusecontemporary.com>

固有で単独の魅力あるアーティストの脆弱性は、本来的な制作の姿勢と営みが、決して枯渇することのない力強い創造の欲望に真摯に従う程、時に社会的な概念規範から逸脱し、時に需要生産性の必然から遠く離れ、ぼつんと立ち尽くすしか無いというところに在ります。

しかし、こうした存在の揺らぎを経て成熟する表現の数々は、遠い過去を蘇らせ、あるいはまた未来を現前させる力を持ち、私たちの日々の暮らしを様々に変容させてくれます。

我々は、この場所を、アーティストの社会への再接続構築の現場と捉え、単なる作家作品紹介・作品販売にとどまるのではなく、

「なぜ、その人はそれをつくったのか」

「わたしたちはそこから何を受け取るのか」

「その表現を現在の社会に*プラグイン・リノベーション(アートの実務的社会活用)できないか」

「アーティスト・ネットワークで何か可能か」

と敢えて問いかけ、その答えを探る仕方、具体的な機能へ変換する試みを実現したいと考えています。

オープニング企画

「vol.0 境内アート選抜展 "The Choice of KEIDAI ART"」

参加作家

今野央輔 Ohsuke IMANO

岡野里香 Rika OKANO

さくらみゆき Miyuki SAKURAI

瀬辺佳子 Yoshiko SEBE

たかはしびわ Biwa TAKAHASHI

ノモトヒロシ Hiroshi NOMOTO

神林學 Gaku KANBAYASHI

カミジョウミカ Mika KAMIJOU

二ノ宮裕子 Hiroko NINOMIYA

伊集院真理子 Mariko IJUIN

縣孝二 Kouji AGATA

岡本直子 Naoko OKAMOTO

石垣むつみ Mutsumi ISHIGAKI

大島美枝子 Mieke OSHIMA

上楽寛 Hiroshi JORAKU

生江葉子 Yoko NAMAIE

亀田智子 Tomoko KAMEDA

本濃研太 Genta Honnoh

中村仁 Jin NAKAMURA

ビジュアルエコー Visual Echo "Quartz"

年間スケジュール

オブセコンテンポラリー vol.0

「境内アート選抜作家展 "The Choice of KEIDAI ART"」

: 4月7日～5月8日

オブセコンテンポラリー vol.1

「版画の魅力」

: 5月11日～6月8日

オブセコンテンポラリー vol.2

「インスタレーション」

: 6月11日～7月8日

オブセコンテンポラリー vol.3

「動物に魅せられた作家たち」

: 7月20日～8月30日

オブセコンテンポラリー vol.4

「ARTと素材」

: 9月11日～10月8日

オブセコンテンポラリー vol.5

「映像と音響とインタラクティブな空間・記憶」

: 10月11日～11月30日